※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第３号）

企業・団体名（　　有限会社外谷建設　　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.9.5変更】

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・弊社では性別、世代、国籍など多様な人材を雇用しており、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築しています。適切な対応がとられるよう、代表・責任者が積極的に関与しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記。 ・職場生き生きアドバンスカンパニー認証を取得済。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応。有給休暇の適切な取得等、ワークライフバランスを尊重・推奨している。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている（交流会、意見交換会の開催など）				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員向けの労働安全衛生講習会の実施。 ・現場ごとの朝礼、KY活動、新規入場教育、月例安全教育、安全パトロールを実施しています。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している。直接雇用の必要性に応じ、代表が相談窓口となっている。 ・【予定】メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備する。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・多様な人材が活躍しており、SNS等で積極的に発信しています。 ・経験や能力を査定し個々に応じた報酬を分配できる仕組みができている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・土木部、産直事業部ともに、職務や役割に応じた研修体系・資格取得体制を整備し実施している。 ・ジェラート店では、メーカーより講師を招いて製造技術の研修・講習会を定期的に行うほか、外部で開催の研修会にも積極的に参加している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】都道府県協会けんぽ、健保連に「健康企業宣言」を行う。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・土木部においては、マニュフェストを用いて日々管理を行い、産業廃棄物処理計画書と報告書を提出し、適正な管理に努めている。 ・事務所、製造所・店舗、現場から排出される廃棄物を適切に分別し、処分している。 ・【予定】廃棄物の種類、量などを把握し、削減に向けて台帳等を整備する。										11.6	12		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・エネルギーの使用量については、月ごとに電気・ガソリンともに使用量をまとめ、把握しています。 ・【予定】省エネ診断を行い、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し、推進する。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・解体現場等で排出される有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定。適切な方法で処理している。			3.9			6.3				11.6	12.4						

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境負荷の少ない輸送方法・環境に配慮した原材料・製造方法、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している。 ・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する。						6.6									15		
16	環境	□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・ジョラー製造過程での資源利用の節約、再利用を推進している。（原料加工の際に排出された野菜くず等を自社で飼育している豚の餌料に再利用している） ・事務作業においてはペーパーレスを推進。コピーの裏のミスプリ再利用などを進めている。 ・海洋汚染につながるプラスチック製容器包装へのお応えとして、商品梱包の際の使い捨てプラスチック製容器の削減等を推進している。（スプーン、カップ等の廃プラ） ・【予定】ヒラもこ加工時の廃棄材の乾燥への再利用・処理方法を検討。											13		14.1				
17	環境	◎	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・該当なし。						6.4 6.6											
18	環境	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】ISO14001の取得のための計画を策定。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	環境	◎	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・該当なし。												12.6					
20	環境	◎	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・該当なし。							7.2						13				
21	環境	◎	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・予定なし。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職、贈収賄禁止等を含む行動規範を整備、社員に頒布し社内浸透を図っている。																16 16.5	
23	公正な事業慣行	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している。																16	
24	公正な事業慣行	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理している ・自社店舗のロゴマークの商標登録申請をすすめている。								8.2 8.3	9								
25	公正な事業慣行	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・社内の個人情報は、責任者が適切な場所に施錠し保管してある。 ・「個人情報に対する基本方針（プライバシーポリシー）」を定めて公表し体制を整備している。 ・社内研修を行い、顧客情報管理ルール等を周知徹底している。																16	
26	公正な事業慣行	◎	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握しており、現時点では自社事業との関連なし。																16	
27	公正な事業慣行	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・サプライヤー、直売所出荷者協議会、ほか事業取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取り組み状況の確認活動を行っている。 ・BtoB情報共有プラットフォーム等を活用したサプライチェーン上のリスク管理を行っている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	公正な事業慣行	□	【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	・パートナーシップ構築宣言を作成し、公表している。			3					8	9	10							17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。ジェラート製造工程においては、HACCPの考え方に基づいた安全管理システムを導入。 ・土木の現場においては工程管理等の仕組みを構築し、安全性を確保している。			3.9									12.4					
30	製品・サービス	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応、口コミやレビューを社内で共有し、改善策を共有するための基本方針・体制・ルールを策定し社内で周知徹底している。 ・【予定】ISO9001の取得に向け計画をすすめる。									9								
31	製品・サービス	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・輸送に伴う環境負荷に配慮し、県内産・近郊産の農産物を原材料として優先的に選択している。 ・地域の生産者さんより廃棄予定の規格外・余剰の農産物を原材料として買い取ることで、廃棄に伴う環境負荷軽減に取り組んでいる。 ・土木部においてはRC-40、再生アスファルト等の再生資材、県内産木材を工事に使用している。						6						12	13	14	15		
32	製品・サービス	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・廃棄予定の規格外・余剰の農産物を原材料として適正価格で買い取ることで、地域社会の活性化、雇用創出などローカルな循環型経済に貢献している。 ・地域の特産品を活用した商品開発を行い、地元の魅力を内外へ発信、商品を展開している。ジェラートは信濃町のふるさと返礼品にも選出されている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・長野県の地産地消を推進する「おいしい信州ふーどキャンペーン」に協賛し、収穫体験などを通じて地元の方にも、信濃町ならではの魅力に親しむ機会を設けている。 ・「こどもまつり」「とうもろこしまつり」「新米まつり」etc 直売所における季節ごとのイベント開催を通じて地域の活性化・地域住民の交流の場を設けている。 ・イベントの際には、お子さんや一般の方向けに冬季に稼働した除雪ドーザ等にも触れてもらうなど、自社事業を知っていただき、地域にひらかれた企業を目指している。 ・工事を実施する際には、工事内容について近隣住民の方々から理解を得られるよう、挨拶回りと地元説明会を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
34	社会貢献・地域貢献	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・信濃小中学校への図書寄贈、町内・近郊の企業や自治体が主催するイベントへの協賛（寄付）等、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 ・地元中学校の職場体験の受けいれをし、次世代を担う人材への育成機会を提供している。 ・地域の防災活動に参画している。 ・県の消防団協力事業所表示制度に加入している。				4							11			14	15		17
35	社会貢献・地域貢献	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・長野県の地産地消を推進する「おいしい信州ふーどキャンペーン」に協賛し、収穫体験などを通じて、地元の方にも信濃町ならではの農産物の魅力に親しむ機会を設けている。 ・ジェラートなど提供する商品の原材料には、優先的に町内産・県内産の農産物を使用している。 ・ふるさと返礼品に選出されている。（地産地消・地産外商）								8	9		11	12	13				
36	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している。 ・産直事業部では経営コンセプト「かかわるみんなが笑顔になれる場所」を掲げ、適時、経営理念、経営目標を全社員に説明し、共有している。								8	9								17
37	組織体制	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内報や掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施している。																16	
38	組織体制	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社内での責任者(担当役員)、CSR管理者を代表取締役に任命している。																16	
39	組織体制	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・直売所の出荷生産者さんや、顧客、発注企業と随時対話し、問題解決に努めている。直売所の出荷協議会では定期的に意見交換の場を設けている。 ・土木部においては現場ごとに打ち合わせ簿を書面にて作成し、保管している。																16	17
40	組織体制	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・工事現場ごとに、毎日リスクマネジメントを行っている。 ・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を講じている。 ・【予定】サービス・商品の品質マネジメントシステム向上、維持のためISO9001取得へ向けた計画をすすめる。																16	
41	組織体制	□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】・CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備している。 ・実施している取り組みについて、随時社外へも公開する。																16	
42	組織体制	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施する。									9		11		13 13.1			16	
43	組織体制	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・該当なし。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
トレーサビリティ	・畑（原材料の生産）から消費者の食卓までの流通がシンプルなため、どの農産物・加工品を誰が生産しているのか、ジェラートの原材料含めて直接取引しているため明確であり、食品の安全性が確保されている。																	
ICT施工の推進	・土木部の現場ではICT施工を活用することにより、経験の少ない若手人材の活躍や、安全性の確保、作業精度・効率の向上などを図っている。																	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定